

【職場環境等の要件・私たちの重点的な取り組み】

1、入職促進への取り組み

- ① 法人や事業所の経営理念やケアの方針・人材育成方針、その実現のための施策・仕組みを明確化
- ② 他産業からの転職者・主婦層・中高年齢者、経験者有資格者にこだわらない幅広い採用の仕組みの構築

2、資質向上やキャリアアップに向けた支援

- ① 働きながら介護福祉士取得を目指す者に対する実務者研修受講支援やより専門性が高い介護技術を取得しようとする者に各種研修受講への支援
- ② 上位者、担当者等によるキャリア面談などキャリアアップ・働き方等に関する定期的な相談の機会の確保

3、両立支援・多様な働き方の推進

- ① 職員の事情等の状況に応じた勤務シフトや短時間正規職員制度の導入、職員の希望に即した非正規職員から正規職員への転換の制度等の整備
- ② 有給休暇を取得し易い雰囲気、意識作りの為、具体的な取得目標（例えば3日連続休暇を年1回は取得、付与日数のうち年60%以上は完全取得など）を定め取得状況を定期的に確認し身近な上司から積極的な声掛けを行う

4、腰痛を含む心身の健康管理

- ① 短時間労働者等も健康診断を受診しましょう（会社負担）ストレスチェックを実施し心と体の健康管理対策
- ② 介護職員の身体の負担軽減のための介護技術の習得支援、職員に対する腰痛対策の研修

5、生産性向上（業務改善及び働く環境改善）の為の取り組み

- ① 現場の課題の見える化（課題の抽出、課題の構造化、業務時間調査の実施等）を実施している
- ② 5S活動（業務管理の手法の1つ。整理・整頓・清掃・清潔・躰の頭文字をとったもの）等の実践による職場環境の整備を行っている
- ③ 業務手順書の作成や、記録・報告様式の工夫等による情報共有や作業負担の軽減を行っている
- ④ 介護ソフト（記録、情報共有、請求業務転記が不要なもの。）、情報端末（タブレット端末、スマートフォン端末等）の導入

6、やりがい、働きがいの醸成

- ① ミーティング等による職場内コミュニケーションの円滑化による個々の介護職員の気づきを踏まえた勤務環境やケア内容の改善
- ② 利用者本位のケア方針など介護保険や法人の理念等を定期的に学ぶ機会の提供
- ③ ケアの好事例や利用者やその家族からの謝意等の情報を共有する機会の提供